

BLSO プロバイダーコース in Sapporo 2016



- BLSO(Basic Life Support in Obstetrics) とは、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なトレーニングコースです。
- 産科を専門とする医療従事者以外でも分娩に遭遇する可能性があります。また外傷などで妊婦が救命救急センターに搬送されたり、大規模災害時には妊産婦救急対応を求められたりする可能性もあります。とりわけここ北海道においては広大な面積、人口密度の低さも相まって妊産婦救急事例発生現場から対応可能な周産期センターまでの距離が長く、道路状況が変化する冬期間などはよりいっそう条件が悪くなります。
- このコースは日頃は産科医療に関与していないが車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある、救命救急士、救急医、家庭医、看護師あるいは新生児の立場から大きく関わる小児科・新生児科医の方々を対象としており、レクチャーと少人数グループによるマネキンを使用した妊婦の評価方法、分娩介助、新生児蘇生、産後大出血、妊婦蘇生等について実習を行います。
- コースは1日で、最後に筆記試験とメガデリバリー（実技試験）に合格すると米国家庭医学会（AAFP）と ALSO Japan より5年間有効な認定証を受けることができます。
- 本コースをきっかけに北海道内の救急領域と周産期領域でさらに連携が深まり、本道のお母さんと赤ちゃんの安全の質の向上につながることを期待しております。

BLSO プロバイダーコース in 札幌 2016

期 日：平成 28 年 10 月 15 日 (土)・16 日 (日)

***1日コースです。同内容のコースを2日間開催しますので、いずれか1日をお選びください。**

会 場：市立札幌病院 会議室 ほか

**主 催：一般社団法人 WIND [女性の健康と医療を守る医師連合]
(北海道大学医学部産婦人科)**

共 催：NPO 法人周産期医療支援機構 (OPPIC)、札幌市、北海道

対 象：病院前産科救急に関わる医師、救急救命士、看護師、助産師など

定 員：各日程 12 名ずつ (一部公募を行います)

参加費：10,000 円 (認定料含む)

募集期間：平成 28 年 7 月 19 日 (火) ~8 月 5 日 (金)

【申込方法】

件名に「**BLSO 受講**」と記載し、必要事項を記入して下記アドレスへメールでお申し込み下さい。不備がある場合、受付できない場合があります。

参加申込必要事項：

- ①名前 ②ふりがな ③名前ローマ字表記 ④所属病院 ⑤診療科 ⑥役職
- ⑦職種 ⑧卒業年度（西暦）⑨住所（郵便番号もご記入ください）
- ⑩電話番号（携帯電話：当日連絡がつくもの）
- ⑪E-mail アドレス（携帯電話のアドレスは不可）

申し込み先・お問い合わせ先：

砂川市立病院 産婦人科 齊藤 良玄

Email : m010067d@yahoo.co.jp

募集期間終了後、受講者選定のうえ受講の可否等のご案内を行います。
申込者多数の場合は職種・地域バランス等で選考させていただきます。
北海道、札幌市との共催事業のため、**北海道内の医療機関からの申し込みを優先させていただきます。**

【会場のご案内】

市立札幌病院

〒060-8604 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目 1-1



●JRをご利用の場合

JR札幌駅より小樽方面の普通列車で1駅

下車後 徒歩3分

* 快速列車は止まりませんのでご注意願います。

●お車でお越しの場合

参加者用の駐車場は用意しておりませんので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願い致します。

* 同日、同日程で北海道大学医学部を会場にALSOプロバイダーコースが開催されます。

お間違えのないようご注意ください。

【教材について】

BLSOプロバイダーコースでは、下記の教材を別途各自ご購入いただいております。プレテスト、筆記試験の問題はすべてここから出題されますので、参加される方は必ずご購入をお願い致します。

購入必須図書：

1) 日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト

田村 正徳 監修 メジカルビュー社

(もしくは『日本版救急蘇生ガイドライン2010に基づく新生児蘇生法テキスト』。今後を考慮すれば2015が最新の内容ですが、2010でも受講に支障はありません。)

2) 病院前救護のための産科救急トレーニング-妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法

新井 隆成 監訳 中外医学社

プロバーダーコーススケジュール

8:00 - 8:30	(30)	受付	
8:30 - 8:45	(15)	オープニング	
8:45-10:00	(75)	分娩介助	講義15分 実習60分
10:10-11:10	(60)	新生児蘇生	講義15分 実習45分
11:20 - 12:40	(80)	女性傷病者の評価	講義15分 実習65分
12:40-13:40		ランチタイム	
13:40-13:50	(10)	試験案内	
13:50-15:00	実技準備10分+実技試験	実技試験①②	③④ 筆記試験→車内分娩
15:00-16:10	実技準備10分+実技試験	実技試験③④	①② 筆記試験→車内分娩
16:10-16:50	(40)	症例検討	前振り10分 症例1例
16:50-17:00	(10)	クロージング	

延長17:30まで